

# 眼科研修

## 眼科ローテーション研修目標

眼科疾患および全身疾患の眼症状を鑑別診断し、的確な初期治療と速やかな専門医へのコンサルテーションができる能力を身につける

### 経験すべき診察法・検査・病態・疾患

1. 鑑別診断と的確な初期治療をおこなえるために
  - ① 診断に必要な的確な問診ができる
  - ② 眼球、眼窩、脳神経の解剖と生理について説明できる
  - ③ 眼科的な診察法ができる
  
2. 適切な検査により確定診断をおこなえるために
  - ① 視力検査ができる
  - ② 眼圧測定ができる
  - ③ 細隙灯顕微鏡による検査、眼圧検査、眼底検査、眼底撮影について述べ検査に参画できる
  - ④ 屈折、色覚、視野、眼鏡、コンタクトレンズの検査法について述べ検査に参画できる
  - ⑤ 蛍光眼底撮影（FAG）検査法について述べ検査に参画できる
  - ⑥ ERG（網膜電図）の検査法について述べ検査に参画できる
  - ⑦ 両眼視機能検査、眼球運動検査、斜視弱視検査法を述べ検査に参画できる
  - ⑧ 超音波検査（Aモード、Bモード）法について述べ検査に参画できる
  
3. 鑑別診断がすみやかにできるために経験すべき病態・疾患
  - ① 屈折異常（近視、遠視、乱視）（B）
  - ② 角結膜炎（B）
  - ③ 白内障（B）
  - ④ 緑内障（B）
  - ⑤ 糖尿病、高血圧、動脈硬化による眼底変化
  
4. 確定診断に基づき適切な治療・処置ができるように
  - ① 点眼の仕方、眼軟膏の点入がおこなえる
  - ② 薬物治療（点眼、眼軟膏、内服、注射）がおこなえる
  - ③ レーザー治療を説明し治療に参加できる
  - ④ 外科的治療の適応を患者に説明し、治療に参加できるように
    - A) 麻酔（球後麻酔、テノン嚢麻酔、点眼麻酔）を述べられる
    - B) マイクロサージェリーの基本を述べられる

- C) 術前・術後処置を述べられる
  - ⑤ 感染症眼疾患への対応ができる
    - A) 周囲への感染予防がおこなえる
    - B) 器具の消毒法を述べ指示できる
5. 眼科救急疾患患者を専門医が診察するまでの予後改善のために
- ① 眼外傷の処置と初期治療ができる
  - ② 急性閉塞隅角緑内障発作の処置と初期治療ができる
  - ③ 急激な眼痛をきたした場合の処置、対応ができる
  - ④ 急激な視力低下についての検査と診断を行い処置と初期治療ができる